



地域貢献



SDGs・郷育



GIGA スクール



学校教育目標

生き生き かがやく 河内の子

目指す学校像	目指す児童像	目指す教職員像
●楽しい学校	●自ら学び考える子	●学び続ける教職員
●がんばる学校	●思いやりのある子	●子どもの気持ちによりそう教職員
●地域とともにある学校	●たくましい子	●協働する教職員

学校経営目標

1 自ら学び考える児童の育成（教務部）	2 思いやりのある児童の育成（生徒指導部）	3 たくましい児童の育成（保健体育部）
<ul style="list-style-type: none"> 学力調査等の客観的データを生かして指導改善し、学力の定着を図る。 「主体的・対話的で深い学び」による授業の工夫を図り、思考力・判断力・表現力を育成する。 家庭学習を工夫し、自主学習を奨励する。 落合中学校区の研究を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳を要に、全教育活動を通して心の教育の充実を図り、いじめを許さず、仲間を大切にする気持ちを育てる。 心理検査（Q-U）の活用と分析を行う。 インクルーシブ教育を推進する。 縦割り班活動、異年齢交流を活用して集団の力を高める取組を推進する。 地域貢献により自己有用感を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動好きの児童を育成するために、体育の授業の工夫と改善を図り、体力の向上を推進する。 家庭・地域との連携により、児童の生活習慣の改善、睡眠時間の確保等、保健指導を推進する。 体験活動を充実させることで、挑戦する気持ちや共感する気持ちを育む。

- **開かれた学校の推進**
 - コミュニティ・スクールを生かし、学校の課題改善を図るとともに情報発信に努める。（HPの活用、CS熟議の場の活用）
 - 生活・総合的な学習の時間では探究的な活動を進めることで、地域学校協働活動を効果的に活用して「SDGs」や「郷育」「キャリア教育」の充実を図る。《社会に開かれた教育課程の研究》
- **組織的機能の充実と働き方改革の推進**
 - R-PDCAサイクルを意識し、実態を見直しながら効率的な学校運営を推進する。
 - 人材活用と育成（専科加配の活用により、組織的活動を推進する。地域人材と地域資源の積極的な活用を図る。）
 - 児童に向き合う時間（授業で勝負）を大切に、組織改善と改革を図り、チーム力の向上を目指す。

研究主題

自ら考えをもち ともに学びあう 子どもの育成



学校運営協議会委員

- 妹尾 久義（学識経験者）
- 梶清 哲夫（地区評議委員長、上河内）
- 谷口 仁志（地区評議委員長、中河内）
- 河本 茂之（地区評議委員長、下河内）
- 妹尾 宗夫（河内地区人権推進員委員長）
- 海原 明（青少年育成指導協議会支部長）
- 三村 公一（青少年指導員）
- 松岡 祥和（地域推進員）
- 藤井 裕子（河内こども園園長）
- 妹尾 活明（PTA会長）
- 山田 史子（校長）
- 松浦 浩澄（教頭）
- 立石 樹（事務主事）

CS 熟議の場



地域学校協働活動

学校運営協議会・地域学校協働本部 ～地域とともにある学校・学校を核とした地域づくり～

河内こども園

しなやかな心と体で生き生きと生活する子どもの育成
～ 遊びあう 伝えあう 関わりあいが生まれる環境づくり ～

落合中学校区小・中連携推進協議会

「発達段階や教科の特性を生かした主体的・対話的で深い学び」
～ 学びを深めていくタブレットの効果的な指導法の研究～